ワールド極真会館　垂水道場生 岩切茉梨愛さん優秀な成績を収める

7月17日、18日、大阪で開催された2022年極真グランプリ全日本空手道選手権大会で、岩切茉梨愛（まりあ）さん（協和小5年）が小学女子5年無差別級第3位という成績を収めました。全国から各大会で実績のある選手たちが集結した本大会、鹿児島県代表として出場し、最後まで諦めず戦い抜いた岩切さんは「3位決定戦では落ち着いて勝負に挑みました。皆さんの応援のおかげで3位入賞することができました。次の全国大会では優勝を目指します」と話しました。今後もますますのご活躍を期待します。

ベトナム社会主義共和国訪問団が 垂水市漁業協同組合へ視察

7月17日、「ベトナム・鹿児島経済交流セミナー2022」に参加されたベトナム社会主義共和国訪問団による、垂水市漁業協同組合の視察が行われました。同組合は令和3年よりベトナムへ海の桜勘（養殖カンパチ）を輸出しており、現在はベトナムからの技能実習生が10人同組合に在籍し、これまで延べ22人の受け入れ実績があります。今回は、海の桜勘を使った昼食をとりながら、カンパチの輸出や技能実習生の様子について、意見交換がなされました。双方の友好関係をより深めた視察となりました。

八千代伝酒造株式会社が２年連続で総裁賞代表を受賞 同社の初外国人就労者２人が表敬訪問

7月29日、農業法人八千代伝酒造株式会社が令和3酒造年度鹿児島県本格焼酎鑑評会で、最高賞の「総裁賞代表」を2年連続で受賞され、市長室を訪れました。八木健太郎代表取締役は「鑑評会は酒質向上を目的に創設された酒造のコンクール で、70年もの歴史があります。史上初2年連続1位受賞となりました。身に余る光栄ですが、これを励みに蔵人一同、今後も焼酎造りを追求してまいります」と話しました。

またこの度、厚生労働省「地域外国人材受入れ・モデル事業」受託事業者パーソルキャリア株式会社を通じて、インドネシアからRIO AHMAD PRASETYO（リオ アフマド プラセチョ）さんとDENI KUSUMADIYANTO（デニ クスマディヤント）さんが同社に就職し、市長室を表敬訪問されました。お2人は特定技能農業（耕種）にて就労し、今後は主に農業の仕事を行います。八木健太郎代表取締役は「よりお客様の声に答えるため従業員を増やし、そして外国人の方を採用することで新たな道筋を開拓したい、という思いからお2人を迎えました。インドネシアはとても好きな国なので、いろいろなお話を聞けるのも楽しみです」と話しました。リオさんとデニさんは「仕事が楽しみです」「これから頑張っていきたいです」と話しました。

▲総裁賞代表を受賞した『八千代伝（黒）』

▲左から八木さん、デニさん、リオさん、尾脇市長

夏もいっぱい本を読もう！ 牛根小学校で真夏の校内読書集会

8月1日、牛根小学校で真夏の校内読書集会が行われました。これは、子どもたちに本への興味・関心をもってもらうため、同小学校が企画したもので、垂水市が開設する出前講座に、図書館ボランティアおはなしサークル『野いちご』も協力し開催されました。当日は同小学校児童15人と保護者の方々が参加し、臨場感溢れる物語を堪能しました。梶ヶ山悠莉（ゆうり）さん（4年）は「英語の読み聞かせは初めてでした。素話（すばなし）は全部覚えていてすごいなと思いました。今日はとても楽しかったです」と話しました。

垂水球友が全国ママさん バレーボールことぶき大会に出場

7月29日、第27回全国ママさんバレーボールことぶき大会（60歳以上の部）鹿児島県予選大会で優勝した、垂水球友の皆さんが市長室を訪れました。県大会を見事勝ち抜いた同チームは、10月26日から28日までの3日間、福島県で開催される全国大会への出場が決定しました。監督兼エースの迫田智代さんは「コロナ禍で中々練習ができませんでしたが、チームの『楽しく、明るくバレーを！』をモットーに、全国大会では全勝を目指して頑張ります」と話しました。全国大会でのご活躍を期待します。

垂水史談会と垂水市文化協会が 清掃ボランティア

8月7日、垂水史談会と垂水市文化協会の20人が、垂水島津家墓所、第六垂水丸遭難碑付近、殿様水周辺の清掃ボランティアを今年も行いました。この3か所は、垂水の史跡を訪れる方々や、垂水中央中学校、垂水高校の生徒たちが文化財巡りをする場所でもあります。垂水史談会は「垂水は誇るべき多くの史跡や文化財があります。市内外からたくさん人が訪れてほしいです」と話しました。ボランティア清掃ですっかりきれいになりました。皆さんありがとうございました。

岩元辰久さんが市内各学校に寄附 協和小学校から感謝状

去年の3月から今年の4月にかけて、本市在住の岩元辰久さんが市内各学校に寄附をされ、8月5日に協和小学校から感謝状と児童からのメッセージ等が贈られました。岩元さんは「未来を担う子どもたちの役に立ちたい、という思いから今回の寄附を行いました。子どもたちのメッセージを読んで感無量です。宝物にします。これからも子どもたちの成長を楽しみにしています」と話しました。同小学校は児童や先生の要望を聞き、寄付金で図書室の本、本棚、芝刈り機を購入し、教育環境を整備しました。